

兵庫保険医新聞

第1756号
2014年7月15日

発行所 兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海通ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133
(会員の購読料は会費に含まれています)

「日本の医療をクイズで考えよう！」当選者からの声

子どもの医療費 どこでも無料に

「生活が苦しいなか、医療費は無料にしてほしい」「子どもは国の宝」。患者・市民にクイズで医療の問題を知ってもらおうと、協会が取り組んだ「日本の医療をクイズで考えよう」の第2シーズン「子どもの医療費窓口負担は中3まで無料に」。当選者から感想が多数寄せられており、一部を紹介する。また、30本以上の応募を集めた医療機関への「30オーバー賞」(抽選) 当選者からの感想も掲載する。

当選者の声

子どもも通院させるか迷う

私の住んでいる市では0歳は窓口負担がありませんが、1歳から所得制限があり、私は窓口負担無料の対象外となりました。0歳までは何かあるたびに迷わず



▲第2シーズンの応募用紙 4700件超の応募があった

今号の記事	
神戸支部 神戸市長への要請書と回答	2面
兵庫県社会保障推進協議会が総会	2面
研究 特別研究会より	4面
面 iPadや革新的ICT活用(上)	

兵庫保険医新聞消夏特集号 会員投稿募集

テーマ ①自由題 ②私の戦争体験
③私の夢
締切・字数 7月18日(金) 必着、600字以内
送り方 メール sanda-a@doc-net.or.jp
FAX 078-393-1802
お問い合わせは、☎078-393-1807 新聞部まで



協会メーリングリスト 参加者受付中



診療情報や医療制度から趣味まで
会員同士による交流、情報交換の場

お申し込みは、hyogo-hok@doc-net.or.jpへ

す。(30歳 女性)
外国のように無料に

わあ、びっくりしました。一回も当たったことなかったもので、まさか当たると思いませんでした。病院の待ち時間に書いていただけだったのでびっくりしました。

医療機関の声

患者・従業員 皆で参加

淡路市 栗田医院
いつも楽しみに待っております。仕事場・家庭で答えを探して書いています。クイズで知らないことが多く、そうだったんだと思うことが多かったです。景品も毎回とても嬉しいです。たくさんの方に景品が当たるよう、検討していただければ幸いです。

なぜ日本では患者負担多いの？

クイズのヒントを拝見していると、兵庫県では20市町(昨年7月時点)が中3まで通院・入院を無料にしていること、先進国では患者負担無料が当たり前など、今まで知らなかったことが分かった。なぜ日本では患者負担が多いのか疑問に思いました。すべて患者負

春の組織強化月間

歯科 目標を超過達成 会員数 過去最高7185人



組織部長 宮武 博明

協会では、4月から6月末まで「春の組織強化月間」として、7220人の入会を目標に取り組みました。

歯科会員では目標を超過達成した他、医科正会員、準会員とも実増となり、全体として177人の入会を得て、会員数は協会結成以来最高の7185人となりました。

安倍政権 集団的自衛権の行使容認

反核医師の会が抗議文

安倍政権が7月1日、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を行ったことを受け、協会が運営に協力する核戦争を防止する兵庫県医師の会(反核医師の会)は7月2日、閣議決定の撤回を求める抗議文を、安倍首相に送付することを決定した。

抗議文は、戦争に反対し、いのちを守る医師・歯科医師の団体として、自国民と批判している。

燭心

今月1日、安倍内閣が集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を行った。今まで憲法上認められないとされてきた海外での武力行使が可能と解釈を変えようという。あわてて六法をひもといた国民も多かろう。憲法9条には「武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」、同2項には「国の交戦権は、これを認めない」とある。どこをどうひっくりかえせば、180度違つて解釈ができるのか？

歯科定例研究会

感想文 医事紛争にならないよう 努力する必要性を実感

歯科部会は6月22日に協容、特に説明内容の詳細を...



77人の参加者が医事紛争の現状について学んだ

ういうこともあり、最近の医療訴訟での...

なるケースがほとんどという事実から「事故の発見時...

投稿 清水添乗員と行く 魅惑のイタリア紀行(中)

三田市・歯科 福田 俊明

海外ツアーでイタリアへ行って来ました。...



美しい海と山にかこまれ、パステルカラーの家々が建ちならぶ。(筆者撮影)

ナポリでは大きなピッツアをいただいた。そこから...

北摂・丹波支部 釣りツアー

テンション上がる 初めての釣り体験

感想文

北摂・丹波支部は6月8日、姫路市の家島で、昨年...



大物のタイをつり上げ、大満足の小寺先生ご夫婦

姫路港から船で約30分。現地に着く。まずスタッフ...

気持ちは、間違ってなくテンションが上がります。...

サだけ持っているか、これらも少しは。一度当たりがあ...

歯科保険請求



〈CAD/CAM冠 施設基準の届出関連〉

Q1 保険医療機関が、医療機器として届け出たCADを設置しているA歯科...

A1 その通りです。この場合は、届出様式の備考欄にCADを設置している...

Q2 互換性が制限されない歯科用CAD/CAM装置とは、CAD/CAM冠用材料...

A2 その通りです。 Q3 保険医療機関内に歯科技工士が配置されているものの、...

A3 保険医療機関内の歯科技工士名の記載は不要です。...

Q4 歯科用CAD/CAM装置を設置している複数の歯科技工所と連携し、...

設基準の届出を複数箇所分提出する場合どう書くのか。

A4 別添2「特掲診療料の施設基準に係る届出書」と様式50-2「CAD/CAM冠の施設基準届出書添付書類」...

なお、「添付書類」の「経歴」欄で、歯科医籍登録から3年以上で、なおかつ...

Q5 届出を出したが、届出番号が付与された書類の返送が月半ばに届いた。...

A5 許可可でなく届出ですので、届出番号が付与された書類の返送が遅れていても、...

◆レセプト請求時には、記載漏れなどがないかよく確認しましょう。

◆不当な査定・減点には、再審査請求をしましょう。

◆歯科保険請求、返戻・減点等のご相談は、☎078-393-1809(歯科直通)まで。



兵庫県保険医協会

☎ 078-393-1801

Fax 078-393-1802

http://www.hhk.jp/

特別 研究会 より

「患者参加型医療」を実現する

iPadや革新的ICT活用(上)

～健康情報と医療情報のシームレスな連携～

千葉県・習志野台整形外科内科 宮川 一郎先生講演

はじめに

わが国の国民皆保険制度は、安価で質の高い医療をいつでもどこでも受けられる素晴らしい制度である。しかし、高齢者の増加や世界的にみた受診回数の多さ、重複検査、医療費の財政圧迫などのさまざまな問題で崩壊の危機にある。

現役開業医師として現場レベルでの問題解決の手段の一つとして、患者さん自身が理解し選択して管理する、「患者参加型医療」の実現が重要であると考え、iPadや新しい技術を用いて取り組んでいる仕組みを発表した。

医師と患者の コミュニケーションの一助に

iPadを診療に用いる最大の利点は患者説明であり、説明の仕方として既存の電子カルテ(PC)の画面を指し示しながら行う90度対話型から、互いの顔を見ながらの180度の対面型や横に寄り添う形での平衡型対話が可能となる。

患者1万人大調査「二度とかかりたくない医療機関」のアンケート調査(2009年2月、日本医療企画)では、医師の診断能力や治療技術の不満より、医師だけでなく看護師・受付を含むスタッフの対応やコミュニケーションに対する不満が多く、特に医師ときちんとコミュニケーションができないことへの不満は、診断能力・治療技術の不満に対し倍以上の不満を感じているという結果からも、医師-患者コミュニケーションは重要だと分かる。

タブレット端末、特にiPadは現在約77

万ものアプリケーション(アプリ)が開発されており、実際の医療現場で使えるアプリが多い。

具体的には、【Google Maps】で患者宅周辺の地図を表示したり、【Safari】の検索を用いての薬剤などの検索である。薬剤の画像を表示し患者さんに提示することで、使用している薬剤が分かることも多い。iPadではFlashが再生されないと言われているが、再生可能なブラウザアプリ【Puffin】などもある。

既存のパンフレットや撮影した写真、動画などを整理するには【Good Reader】や、有料ではあるが【Hand Book】なども使いやすい。

実際の診療でiPadを使うために、二つのアプリケーションを開発した。

問診票アプリ=iPad問診票【owl】

iPad問診票【owl】は、iPadだけに限らずさまざまなタブレットで使えるWeb型アプリで、講演中にも参加者が持参されたタブレットやスマートフォンで使用してもらった。(図)

日本はOECD加盟国平均に比べ、1人の医師が診察する患者数が約3.5倍と多く、紙媒体の問診票から電子カルテへの転記作業は手間、転記ミスも起こり得る。

開発した問診票アプリは、患者入力終了後に電子カルテの所見欄に自動的に転記され、患者記載の履歴を残すためにPDFでも保存される。それ以外にも、動きのあるアイコン表示・確認音・患者IDの後入力・再転送機能・入力漏れ防止などで、わずかではあるがペーパーレス

図 iPad問診票【owl】



化、業務効率化や患者の入力ミス・医師の転記ミスを防ぐよう設計した。当院では1日平均の新患者数が19.4人で、約60分の転記作業による損失時間が改善した。また新患者を診察室に呼ぶ段階で転記作業が完了しているため、最初から患者を見ながら話を聞くことができるようになった。

さらに電子カルテのメーカーによっては自動転記できない場合にクラウド型の問診票や、紙カルテ用に患者入力終了後に紙カルテ2号用紙に自動的に印刷されるバージョンも作成した。

問診票アプリの発展型で、スタッフ間の情報共有ツールも作成した。電子カル

テのように入力場所が限定されることなく、履歴からの参照入力や手書き入力にも対応している。

MacintoshでもWindowsでも対応が可能であるが、サーバーとなるパソコンが必要となる。当院ではiPadとの相性を考えMacintosh(iMac)を採用した。別の活用方法として、Macintosh専用のDICOMビューワーであるオープンソースの【OsiriX】をiPadへのDICOM画像転送のために導入し、セキュアな通信環境を整え、近隣の病院で撮影したCT/MRI画像の転送や院外のiPadでも画像が見れる仕組みも構築した。

(次号につづく)

診療内容向上研究会 第498回

得意になるめまい診療

日時 8月23日(土) 17時～ 会場 協会5階会議室
講師 横浜市立脳血管医療センター神経内科部長 城倉 健先生

急性発症した中枢性めまいは、脳幹或小脳の血管障害をまず念頭に置く。脳幹および小脳上部の血管障害の場合は、顔面や上下肢の運動ないし感覚障害を伴うことが特徴である。従って、眼球運動や構音、顔面四肢の運動ないし感覚をスクリーニングする簡単な診察で診断できる。一方、小脳下部の血管障害が原因のめまいには、顕著な体幹失調を伴う。このため、起立や歩行の障害を観察することが、診断のポイントになる。

末梢性めまいは、遭遇頻度が圧倒的に高い良性発作性頭位めまい症と、前庭神経炎をはじめとする急性一側末梢前庭障害を念頭に置く。めまい以外の神経症候を伴わない末梢性めまいは、Frenzel眼鏡を用いた眼振の観察が診断の決め手になる。良性発作性頭位めまい症であれば、座位から右下または左下懸垂頭位にした際の回旋性眼振(後半規管型)か、右下頭位と左下頭位で方向が逆転する方向交代性眼振(外側半規管型)が出現する。一方、一側の急性末梢前庭障害であれば、頭位によらない方向固定性水平性眼振(水平回旋混合性眼振)が出現する。

【城倉 記】

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1803まで

核戦争を防止する兵庫県医師の会 第33回総会記念講演

アーサー・ピナードが語る ピカドンが教えてくれたこと

日時 7月27日(日) 15時～17時 会場 協会5階会議室
講師 詩人 アーサー・ピナード氏 参加費 無料 定員 200人

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1807まで

10月は第23回日常診療経験交流会にご参加を!

分科会的话题を募集します

年に一度、日常診療上の創意・工夫や研究内容を発表し交流する日常診療経験交流会。今年のメインテーマは「いま問う あなたの情熱」です。医師・歯科医師・薬剤師、メディカルスタッフのみなさん、ふるって分科会へのお話提供にご応募ください。

【応募要領】

- 日時 10月26日(日) 10時～14時ごろ
- 会場 神戸市産業振興センター(JR神戸駅南・ハーバーランド内)
- テーマ メインテーマ、日常診療、在宅・地域医療、病診・診診連携、医科・歯科・薬科の連携・工夫、東日本大震災関連など
- ※「発表したいけど、発表の仕方がわからない」「当日参加できないけど発表したい」など、発表形式はご相談に応じます。ポスターセッション形式の発表も歓迎です。ポスター1枚からでも発表可能です。
- 発表方法 15分(発表10分、質疑5分)
※パワーポイント等スライドは10枚程度でお願いします
- 申込方法 申込書で、演題名・スライドの有無、使用機材等をお知らせください
- 抄録 発表内容のサマリーを400字程度で別途お送りください
- 締切 申し込み8月30日(土)、抄録は9月30日(火)

【当日の企画】

- ◆分科会 10時～14時ごろ
- ◆医科・歯科・薬科交流企画 14時30分～17時
「医科・歯科・薬科連携の新たなステージ～元気のでる話をしましょう～」(案)
- ◆特別企画 「今さら聞けない、教えて」コーナー
- ◆並行企画 救急フェスターCPR講習会(午後)
- ◆展示等 ポスターセッション/情報ネットワーク/医院新聞/文化部展示会/地域の特産品抽選会/薬科部企画ほか

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1803まで